

報道関係各位

2019年3月4日

最先端 BIM/CIM の導入で業務効率化・経営を改善 『i-BIM+』レンタルサービスを開始！

株式会社アクティオ

株式会社アクティオ(本社：東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO：小沼直人、以下アクティオ)は、BIM/CIM の導入時や運用時に必要な、情報インフラ、運用ノウハウ、高度人材育成支援、最先端ハードウェアをパッケージで提供する『i-BIM+』(アイビムプラス) のレンタルサービスを 2019 年 4 月から開始いたします。

建設機械レンタルのアクティオと、最高レベルの安全性を備えたクラウドサービスを展開する株式会社アイネット(本社：横浜市西区、代表取締役社長：坂井満、以下アイネット)、国内最大級の BIM^{※1}/CIM^{※2}コンサルティングの実績を持つ、ペーパレススタジオジャパン株式会社(本社：港区、代表取締役 勝目高行、以下ペーパレススタジオジャパン) の 3 社が協業し、それぞれの強みをパッケージにした最先端 BIM/CIM サービスをスタートします。

ペーパレススタジオジャパンが提供する BIM/CIM 活用パッケージ(ソフトウェア)と、アイネットのクラウドと仮想デスクトップサービスを組み合わせた「VIDAAS」、3次元レーザースキャナーやドローンなど BIM/CIM に必要な環境や機材をレンタルするほかに、BIM/CIM 導入の座学や e-ラーニングなどを提供します。

■『i-BIM+』サービスを開始する背景

現在、建設業界は、慢性的な人手不足やベテラン作業員の減少などの問題から、設計や施工の自動化、効率化を実現するサービスが求められています。BIM/CIM が日本で認知されてからおよそ 10 年程度経ちますが、現状、設計の際の 3次元データ作成のみに使われている場合が多く、施工現場において BIM/CIM が十分に活用されておらず、設計と施工が一貫していないケースもあるようです。

建設現場が BIM/CIM を導入し、高品質・コスト削減・工期短縮を最大化するためには、高度人材・実務ノウハウ・最新システム(建設機器や IoT)などが必要になりますが、これらの導入には多大なるコストがかかり、一企業がすべてをバランスよく導入するのは困難とされています。また、55 歳以上の就業者が約 34%^{※3} の建設業において、急速に発展している最新の IT 技術(BIM/CIM)を習得し、活用できる人材はごくわずかであり、初期導入においては若手技術者の教育が課題となります。

今回、『i-BIM+』を展開していくことで、BIM/CIM の初期導入から施工現場での実践的な活用まで、日本における本格的な BIM/CIM 導入の普及を推進していきます。

※1 BIM (Building Information Modeling) は、コンピューター上に作成した 3次元デジタルモデルの建物に、コストや作業工程、管理情報などの属性データを収集し、建築物のデータベースを用いて建築の設計・施工・維持管理まで、あらゆる工程で情報活用を行う方法を指す。

※2 CIM (Construction Information Modeling) は、3次元の設計手法。3次元モデルを中心に関係者間で情報共有することで一連の建設生産システムの効率化・高度化を図るもの。

※3 建設業就業者は、55 歳以上が約 34%、29 歳以下が約 11%と他産業と比べ高齢化が著しい。

出典：「労働力調査(総務省統計局)」を基に国土交通省で算出

■具体的なサービス内容

- ①「人材教育支援」：設計者、現場マネージャーの人材育成を支援。e-ラーニングによる教育サービスにより場所や時間を問わず受講が可能。
- ②「機材提供」：BIM/CIM を活用できるクラウドサービスや測量機器をレンタルで提供。クラウドサービスでは、膨大なデータ処理を必要とする BIM/CIM に特化した環境を利用してもらうことで、新たにハイスペックなパソコンを用意する必要が無く、導入費用の削減が図れる。また、クラウド内で設計者と現場間での連携や協力会社とのデータ共有が可能のため、作業の効率化、円滑化に繋がる。
- ③「活用支援」：BIM/CIM の導入効果向上を支援。墨出し^{※4}の効率化や 3D スキャナ等による工程進捗管理の手法を現場で実演。

※4 工事中に必要な線や位置などを床や壁などに表示する作業。

■第 1 弾サービスの 5 つの特長

【BIM/CIM 導入支援サービス】

(1) 「経営層向け、BIM/CIM 導入セミナーの実施」 (2019 年 3 月より開始予定)

BIM/CIM 導入メリットをしっかりと習得していただける無料セミナーを実施予定です。対象は、建設業経営者・ビルオーナーとなります。まずは関東圏からスタートし、全国にエリアを順次拡大予定です。

(第一回は 3 月 5 日)

(2) 「BIM/CIM 教育支援サービス」 (2019 年 4 月より開始予定)

e-ラーニングとスキルチェックテストによる進捗管理により、現場で活用するための BIM/CIM ツールの基礎をしっかりと習得していただけます。対象は設計者・施工技術者・専門工事業者で基礎コース・実務コースを提供予定です。

(3) 「BIM/CIM プロジェクトマネジメントセミナー」 (2019 年 5 月より開始予定)

座学と e-ラーニングによるハイブリット講義で、管理者として BIM/CIM を推進・活用するための基礎知識を習得していただけます。対象は、設計管理者・施工管理者です。

【BIM/CIM 実務活用サービス】

(1) 「3D スキャナ&ドローン測量による BIM/CIM データ活用サービス」 (2019 年 5 月より開始予定)

BIM/CIM データを活用し、施工効率・精度向上を目的とした機材 (3D スキャナ/ドローン) レンタルとデータ活用ノウハウをセットで提供します。対象は、設計管理者・施工管理者で、教育のみ、機器レンタルおよび実務検証パッケージです。

(2) 「墨出し効率化パッケージ」 (2019 年 5 月より開始予定)

BIM/CIM データを活用し、墨出し効率化を目的とした機材 (トータルステーション) レンタルとデータ活用ノウハウをセットで提供します。対象は、設計者・施工技術者・専門工事業者で、教育のみ、機器レンタルおよび実務検証パッケージです。

※サービス開始時期ならびにサービス提供価格は、予告なく変更することがあります。

■初年度の数値目標

各種教育サービスの受講者 300 名

■中期的な数値目標

20 億円程度の売上規模を想定

■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』（算数とハートの経営 2014年 幻冬舎）。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポート

します。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】[http:// www.aktio.co.jp/](http://www.aktio.co.jp/)

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ

新規事業開発部 i-BIM+事業推進プロジェクトチーム

TEL:03-6262-7497